

電子マニフェストの 導入構想から運用立ち上げまで

キリンビール株式会社

首都圏・関東甲信越統括本部総務部
齋藤 重幸

企業プロフィール

「キリンが大切にしていること」

キリングループの創業は 1907 年

ビールという新しい飲みもので事業をスタートし、新しい生活文化を創造してきました。

大切にしてきたのは、食と健康の領域で、技術に立脚した品質本位のものづくりを通じて、人々の健康で心豊かな生活に貢献すること。

そして誰よりも情熱を持って真摯に、お客様に寄り添い一緒に幸せな未来をめざしていくことです。

企業概要

会社名：キリンビール株式会社

設立：2007年7月1日

本社所在地：東京都中野区中野 4-10-2
中野セントラルパークサウス

資本金：300億円

株主：キリン株式会社（出資比率 100%）

事業内容：酒類の製造、営業、販売

事業所：本社、営業拠点 46、工場 9、
研究所ほか 2

従業員数：5,205名（2017年1月1日時点）

1. キリングループの廃棄物基本方針

「事業活動から発生する廃棄物を、自ら処理する場合も、処理を委託する場合も、廃棄物処理については排出する事業者として責任を負うことを自覚し、法令を順守して適正な管理を行う。」

私達はこの基本方針に則って活動しています。

2. 電子マニフェスト導入のきっかけ

キリングループの産業廃棄物担当者は各種の社内研修受講が義務付けられています。

「基礎編」「マニフェスト編」「契約書編」「現地監査編」これらは廃棄物の適正な管理を維持するための「礎」となっています。また、この研修会はグループ社員同士の情報交換の場でもあります。

これらの研修に参加した際「電子マニフェストは操作も簡単だし、すごく楽だよ」との会話が聞こえてきました。担当する事業所は紙マニフェストの運用でしたので電子

マニフェストの知識がなかった私にはとても新鮮に聞こえました。「電子マニフェスト?とにかく調べてみよう!」これがきっかけでした。

3. 電子マニフェスト導入に向けて

電子マニフェスト知識ゼロからのスタートでしたが、日本産業廃棄物処理振興センターのホームページで各種研修が実施されていることを知り、最初に「導入実務研修」、続いて「操作体験セミナー」に参加し、理解度が高まるにつれて「これなら早期に導入が可能かもしれない」と確信を得ることができました。

「2017年度下半期以降、各事業所から排出される廃棄物は全て電子マニフェスト化する」との目標を立てて具体的なスケジュールの作成に着手しました。

しかし、実際にこのシステムを操作、運用するのは関東甲信越地区の各県で業務を行う担当者です。

この担当者達が電子マニフェストに対して抵抗感を持たず、スムーズに受け入れてくれるかが課題でした。

< キリンビール株式会社 関東甲信越統括本部組織図 >

取りまとめ

キリンビール株式会社 関東甲信越統括本部
(東京都中央区小網町)

排出事業所

茨城支社
(水戸市)栃木支社
(宇都宮市)群馬支社
(高崎市)新潟支社
(新潟市)長野・山梨支社
長野支店
(長野市)長野・山梨支社
山梨支店
(甲府市)

①現場が主役 「排出場所別サブ番号の運用」

あらかじめ、場所別にサブ番号を追加登録して複数の場所がログインできるようにして操作性を向上させると同時に、専用のIDとパスワードにより運用の主体性を現場に持たせました。

また、取りまとめである統括本部（東京）で全場所のマニフェスト情報を把握できますので、不明な点があれば画面を見ながらアドバイスができます。

②現場の作業負担軽減に向けて「入力のパターン化」

担当者の入力業務を低減させるために「排出場所別、廃棄物別」に全てパターン化登録を実施しました。これにより入力が簡素化されるので、排出日当日に収集運搬業者様へ「受渡確認票」をお渡しできるようにしました。

いずれも基本的なことばかりですが電子マニフェストの継続運用には欠かせない要素でした。

そして、現場の担当者達に対してこのシステムを導入する理由や基本操作、運用方法説明を丁寧に行うことが「早期導入の鍵」になるとの考えから、私自身が各場所の産

業廃棄物排出日に合わせて現地へ赴き、直接排出現場でどのような作業が行われているかを実際に検証し、現地の担当者の声を聞きながら一場所ずつ導入立ち上げを行いました。

4. 現場の声と今後に向けて

紙マニフェスト運用時は「当たり前のように行っていた作業」も、電子マニフェストを導入して削減することができました。現地の担当者から「これだけでいいの？簡単だし楽になったね」との声を聞いた時は担当としての達成感を得ました。導入のきっかけは単純でしたが、構想から導入まで3か月という短期間で導入できたのは、現地の担当者の理解と協力があってこそではないかと実感しています。継続してフォローして参りたいと思います。

最後に、私達、キリングroupの飲みものは自然のめぐみからつくられています。限りあるこの自然のめぐみに感謝し、環境負荷を低減させ資源を循環させていかなければなりません。

今後も排出事業者として収集運搬業者様、処分業者様のご指導いただきながら、その責務を果たして参りたいと思います。

<電子マニフェスト導入までのスケジュール>

2017年		8月	9月	10月	11月	12月
準備	導入実務者研修参加	●4日				
	体験セミナー参加	●25日				
	電子マニフェスト申込み	●29日				
運用	栃木支社運用開始			●6日		
	茨城支社運用開始			●11日		
	新潟支社運用開始			●17日		
	群馬支社運用開始				●27日	
	長野・山梨支社運用開始					●12日
	山梨支店運用開始					●25日